

碧い湖



琵琶湖流域下水道50周年記念事業 マンホール蓋デザインコンクール

優秀賞作品

小学校低学年の部

「19の市町が琵琶湖を守る!!!」

湖南省立三雲東小学校

3年生 田中 朱皇さん



小学校高学年の部

「私の住む滋賀県」

草津市立笠縫東小学校

4年生 井上 紗月さん



中学生の部

「滋賀の生命」

愛荘町立秦荘中学校

3年生 山田 舞音さん



一般の部

「あっぱれ滋賀県!」

守山市 吉原 佳子さん



目次

特集	琵琶湖流域下水道50周年記念特集 【琵琶湖流域下水道50周年記念事業】を実施しました！ ～下水道の歩みとこれから～
お知らせ	ご注意ください！～新型コロナウイルス拡大防止対策にかかる注意事項～ 湖西浄化センター「バラ一般公開&施設見学会 2022春」を実施します。 プラザミニコーナー けんせつみらいフェスタ、木育イベントに出展しました！
げすいとびくす 市町だより	第28回「よりよい水環境づくり」ポスターコンクールが開催されました！ 愛荘町「愛着と誇り。人とまちが共に輝く みらい創生のまち。」
やってみよう！げすいクロス	
読者のこえ・編集後記	

「琵琶湖流域下水道50周年 記念事業」を実施しました！

琵琶湖流域下水道は、昭和47年の湖南中部浄化センターの事業着手から今年で50年を迎えます。そこで、50年という節目の年を記念し、さらに下水道についての理解や関心を深めていただくために、「琵琶湖流域下水道50周年記念事業」として、5つの事業を実施しました。

★ 滋賀県ホームページに50周年記念ページを開設し、各事業の内容を掲載しています！
URL : <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/suido/324032.html>



記念誌

浄化センター建設までの経緯や、これまでの取組をまとめ、50年間のあゆみを記録として残すことで、下水道事業の果たす役割を伝えるため、記念誌を作成しました。県のホームページより記念誌をご覧ください。



湖南中部浄化センター建設工事



高島浄化センター建設当初



東北部浄化センター建設当初



湖西浄化センター建設当初

PR動画の作成、配信

下水道についての動画を作成しました。琵琶湖と下水道の50年を紹介する「歴史編」、浄化センターなどの施設が分かる「施設見学編」、私たちの業務を撮った「仕事紹介編」、市町のマンホールなどを巡る「市町編」をYouTube「shigakoho」チャンネル等にて配信しています。是非ご覧ください。

環境教育資料の作成

下水道の正しい使い方など、環境教育に使える動画(DVD)とパネルを作成しました。学校教育や地域等での使用を希望される方は、以下までお問い合わせください。
問い合わせ先：滋賀県琵琶湖環境部下水道課企画係
TEL：077-528-4213

記念対談

令和4年1月29日に滋賀県公館にて「流域下水道50周年と琵琶湖の環境保全」をテーマに、東京大学特任准教授 加藤裕之先生と滋賀県 三日月大造知事による対談をe-radioパーソナリティの井上麻子さんの司会により実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため、加藤先生はリモートでの参加となりました。はじめに、知事より下水処理場の施設を受け入れていただいた地域の皆様、流域下水道の整備に関わっていただいた皆様に対する感謝が述べられました。対談では、加藤先生から、ビストロ下水道や琵琶湖版SDGsであるMLGs等、滋賀県の環境保全への取り組みに対する期待の言葉をいただき、知事からは、流域下水道の維持管理やビストロ下水道等の資源循環に対する決意の表明がありました。「琵琶湖流域下水道って何？」から始まり、歴史やこれからの取り組み、滋賀県の下水道は全国的にも先進的であること等、滋賀の下水道の歩みと今後がわかる対談となっています。対談の様子については、県ホームページのリンクから、またはYouTube「shigakoho」チャンネルにて是非ご覧ください。



加藤裕之先生

加藤先生のプロフィール

現在：東京大学大学院都市工学専攻 下水道システムイノベーション研究室 特任准教授
「ビストロ下水道」の名づけ親
過去：国土交通省在勤中、平成10年度～平成12年度にかけて、滋賀県下水道計画課長として出向

マンホール蓋デザインコンクール

令和3年7月12日～10月31日の間に、県内にお住まい、通勤、通学されている小学生以上の方を対象に、マンホール蓋のデザインを募集したところ、小学校低学年の部509作品、小学校高学年の部1,271作品、中学生の部277作品、一般の部143作品、合計2,200作品の応募がありました。審査の結果、各部門優秀賞を1作品ずつ、入賞を30作品選定しました。



令和4年1月29日に滋賀県公館にて、優秀賞の表彰式を行いました。三日月大造知事より、受賞者へ賞状と記念品が授与されました。詳細は県のホームページをご覧ください。なお、優秀賞4作品(表紙に掲載)は、実際のマンホール蓋を製作し、3月末から草津市にある淡海環境プラザにて展示します。



記念品 (オリジナル図書カード)

実行委員会からの講評

優秀賞受賞者4名

マンホール蓋デザインコンクール 入賞30作品

小学校低学年の部						
	「滋賀県びわこおなまず」 大津市立志賀小学校 3年生 南 来夏さん	「しがけんの大なまずの王なまず」 大津市立志賀小学校 3年生 佐々木 心太郎さん	「しがけんのきとおはな」 守山市立玉津小学校 1年生 寺内 心咲さん	「わたしとじと大すきなびわこ」 野洲市立北野小学校 3年生 加藤 美琴さん	「ゆめいーばい志賀」 大津市立青山小学校 3年生 中野 ひまりさん	
	「自ぜんいっばいのしが」 大津市立瀬田北小学校 3年生 菅沼 宏基さん	「だいすきが」 湖南市立三雲東小学校 1年生 勝井 更咲さん	「滋賀の「木、花、鳥」」 守山市立物部小学校 6年生 栗原 桜さん	「enjoy Shiga☆」 近江八幡市立金田小学校 6年生 木村 日彩南さん	「滋賀県琵琶湖50周年」 大津市立志賀小学校 6年生 桂 愛唯里さん	
	小学校高学年の部					
		「夜の琵琶湖」 大津市立志賀小学校 6年生 村上 和香奈さん	「カインプリの池」 甲賀市立大原小学校 6年生 松岡 虹湖さん	「滋賀といえば」 守山市立物部小学校 6年生 川窪 友輔さん	「母なる湖と滋賀の生物」 守山市立玉津小学校 6年生 小森 綾乃さん	「滋賀のことをもっともっと広めよう」 大津市立志賀小学校 6年生 南 優亞さん

小学校高学年の部				中学生の部
	「自然がいっぱい私のふるさと」 守山市立物部小学校 6年生 田家 梨花さん	「歴史から伝わる滋賀県」 大津市立青山小学校 6年生 井上 皓太さん	「びわこにかが 花火とかいづり」 電王町立電王西小学校 4年生 齊内 光優さん	
	「守れ！琵琶湖の固有種」 大津市立青山小学校 6年生 小林 芽佳さん	「かるたの都、近江神宮」 大津市立志賀小学校 5年生 羽田 侃太郎さん	「琵琶湖とシャクナゲ」 大津市立志賀小学校 6年生 藤家 ひたきさん	
	「Hurusato Siga」 日野町立桜谷小学校 6年生 遠城 壮太さん	「びわこ通信やきの輪」 大津市立志賀小学校 5年生 新家 千帆さん	「滋賀県の魅力いっぱいマンホール」 大津市立志賀小学校 6年生 森田 もあさん	
	一般の部			
		「滋賀ラッキー☆マンホール」 大津市 竹川 紗希さん	「豊かな滋賀」 野洲市 高橋 歩さん	

琵琶湖流域下水道50周年記念特集

～下水道の歩みとこれから～

START

昭和47年(1972年)



昭和48年(1973年)
湖南中部浄化センターの工事に着手



工事が始まったころは、昭和52年(1977年)に琵琶湖で初めて淡水赤潮が大発生するなど、琵琶湖の水の汚れが大きな社会問題になっていたんだ。



平成14年(2002年)
琵琶湖流域下水道30周年記念事業

30

平成14年(2002年)



昭和35年(1960年)以降、高度経済成長にともなう産業活動の活発化、都市化にともなって琵琶湖の水質悪化が進みました。

滋賀県では、琵琶湖や河川の水質保全と、県民の快適な居住環境を実現するための有効な手段として下水道を位置づけ、昭和46年(1971年)度に「琵琶湖周辺流域下水道基本計画」を策定しました。

この計画に基づいて、琵琶湖流域下水道事業が始まり、県内の下水道施設の整備が進められた結果、滋賀県の下水道普及率は、昭和56年(1981年)度末の4.8%(既に1969年から運転を開始していた大津市の下水処理分)から、令和2年(2020年)度末では91.6%になりました。

琵琶湖流域下水道事業開始から今年で50周年。これからも、琵琶湖の水質を守り、皆様の安心・快適な暮らしを支えるよう、日々頑張っています。

10

昭和57年(1982年)



昭和57年(1982年)
湖南中部浄化センターの運転を開始



平成9年(1997年)
高島浄化センターの運転を開始



平成12年(2000年)には、滋賀県の下水道普及率が64.5%と、全国平均を超えたんだよ。

20

平成4年(1992年)



県が管理する4つの浄化センター(湖南中部、湖西、東北部、高島)と、市町が管理する5つの浄化センター(大津、沖島、土山、朽木、信楽)が次々と作られていったよ。



昭和59年(1984年)
湖西浄化センターの運転を開始



平成3年(1991年)
東北部浄化センターの運転を開始



平成15年(2003年)
山寺川市街地排水浄化施設(伯母川ピオ・パーク)供用開始



平成20年(2008年)
東北部浄化センター焼却溶融炉運転開始(溶融炉：令和元年度まで)



平成21年(2009年)
守山栗東雨水幹線供用開始



平成28年(2016年)
湖西浄化センター污泥燃料化施設運転開始



平成26年(2014年)
湖南中部浄化センター高効率二段燃焼方式焼却炉運転開始



平成25年(2013年)
淡水環境プラザ開設

40

平成24年(2012年)



雨水排水を植物などで浄化するピオパーク、浸水被害を防止する雨水幹線、そして下水汚泥を溶融スラグや燃料炭としてリサイクルする施設などが作られたよ。



これからの下水道は次のページへGO!

50

令和4年(2022年)

エネルギー利用



湖南中部浄化センター 下水汚泥のメタン発酵によるバイオガスの生成および有効利用
(※未供用のため、豊橋市の施設を掲載。出典：国交省HP)

新しい処理技術



東北部浄化センター 膜分離活性汚泥法による省スペースで高効率な下水処理

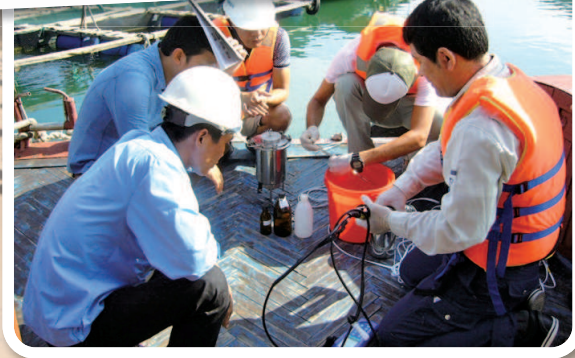
みらいに輝く下水道!

汚泥の循環利用



高島浄化センター 下水汚泥コンポストを用いた野菜の栽培試験

下水道の海外展開

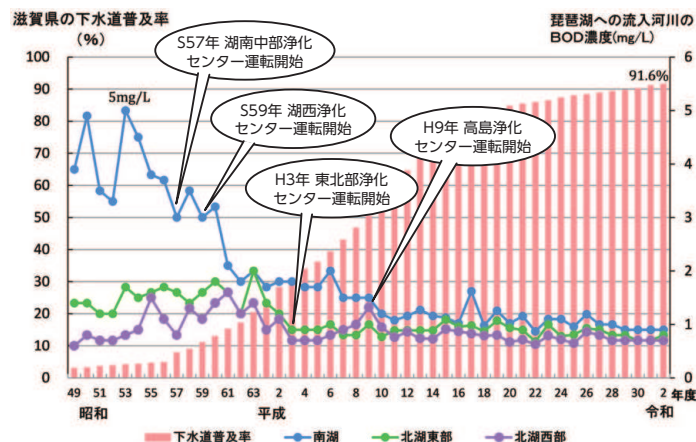


海外技術支援活動(ベトナム等)



滋賀県の流域下水道事業が50周年を迎えました。これまで下水道は「浸水の防除」、「公衆衛生の向上」、「湖や河川などの公共用水域の水質保全」の3つの大きな役割を果たしてきました。今後もそれらの役割を果たすとともに、皆様の生活や産業活動を支える貴重な水資源の循環の創出や、低炭素社会の実現および地球温暖化防止への貢献を果たすべく、新たな事業にも積極的に取り組んで参ります。

滋賀県の下水道普及率と琵琶湖への流入河川の水質



一メモ

湖南中部浄化センターが運転を開始するまでは、滋賀県内の下水道普及率は、昭和56年で大津市の下水処理場分のわずか4.8%でした。今では下水道普及率が91.6%と、全国6位の高い普及率となっています。また、下水道の整備と、さまざまな水質保全対策が進められたことによって、以前と比べると河川の水質は、大きく改善されていることがわかります。



お知らせ

滋賀県では、皆様に下水道の役割を知っていただくためにさまざまな情報を紹介しています。

ご注意ください!

お知らせの内容は、今後の新型コロナウイルス感染の状況により、開催の中止または内容が変更となる可能性があります。
浄化センターへの来場を希望される方は、必ず事前に電話で希望先の浄化センター(下記のお問い合わせ先)に受け入れ状況を御確認ください。
また、下記お問い合わせ先および下記ホームページで最新情報もあわせて御確認ください。
なお、各浄化センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、施設の消毒およびアルコール消毒剤の設置を行っておりますが、来場の皆様におかれましても、感染拡大防止対策として、マスクを着用してお越しいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

滋賀県南部流域下水道事務所
湖南中部浄化センター TEL: 077-564-1900
湖西浄化センター TEL: 077-579-4611
滋賀県北部流域下水道事務所
東北部浄化センター TEL: 0749-26-6634
高島浄化センター TEL: 0740-22-5255

☆最新情報掲載先(滋賀県ホームページ)
URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/soshiki/biwakokankyoubu/gesuidouka/index.html>



↑このリンク先から各流域下水道事務所のページをご覧ください。

湖西浄化センター「バラ一般公開&施設見学会 2022春」を実施します。

【開催期間】 令和4年(2022年) 5月18日(水)から5月29日(日)
9時~16時30分まで(入場は16時まで)
無料駐車場もあります。

- 湖西浄化センターのバラ一般公開【入場無料】を行います。場内には約80種700株のバラが咲きます。
- また、この公開期間中の土曜日・日曜日には、【施設見学会】を開催しますので、普段見る機会がない下水処理場で水がきれいになる過程を見学できます。
【午前および午後各1回開催、所要時間は40分程度】
★施設見学会参加者には、滋賀県流域下水道マンホールカードをプレゼントします。
詳細は、県ホームページやチラシを通して皆様にお知らせします。



バラ園の様子

施設見学会の様子

このお知らせに関する問い合わせは…
湖西浄化センター
〒520-0102 大津市苗鹿三丁目1番1号
TEL: 077-579-4611

プラザ ミニ コーナー

けんせつみらいフェスタ、木育イベントに出展しました!

淡海環境プラザでは、下水道の普及啓発活動の一環として、昨年(2021年)11月に、けんせつみらいフェスタと木育イベントに出展しました。

けんせつみらいフェスタでは、模型を使った下水道管の推進管工法体験やオリジナルマンホール缶バッジ作りのコーナーを設け、多くの方にお楽しみいただきました。

また、木育イベントでは、湖南中部浄化センターの見学ツアーを開催し、普段見ることのできない浄化センター内の水処理施設を見学いただきました。

今後も皆様に下水道を楽しく学んでいただけるよう、様々なイベントに出展いたしますので、お気軽にお越しください。



推進管工法体験

浄化センター見学ツアー

お問い合わせ
公益財団法人 淡海環境保全財団
淡海環境プラザ担当 TEL: 077-569-5306
【プラザホームページ】
<https://www.ohmi.or.jp/plaza/>



プラザホームページへ!

第28回「よりよい水環境づくり」ポスターコンクールが開催されました！

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質保全など水についての重要性を認識してもらうことを目的として、水環境への想いを描いたポスターコンクールが開催されました。県内の小中学校から205作品の応募がありました。
 (主催：NPO法人ひかりグループ 後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、草津市、草津市教育委員会、(公財)淡水環境保全財団)

滋賀県知事賞



小学生 低学年の部
草津市立老上小学校 1年生 鈴木 芽生さん



小学生 高学年の部
近江八幡市立島小学校 6年生 川越 まりあさん



中学生の部
多賀町立多賀中学校 1年生 横山 春音さん

滋賀県教育委員会教育長賞



竜王町立竜王西小学校 2年生 本庄 絢太さん



草津市立茨川小学校 4年生 松浦 美優さん



守山市立守山南中学校 2年生 武鹿 菜奈子さん

(公財)淡水環境保全財団理事長賞



甲賀市立佐山小学校 2年生 安藤 しいさん



草津市立山田小学校 4年生 山本 早苗さん

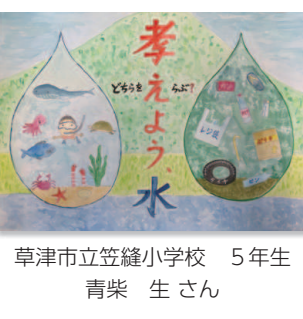


滋賀大学教育学部附属中学校 2年生 三田 ななみさん

草津市長賞



竜王町立竜王西小学校 2年生 白濱 寛太さん



草津市立笠縫小学校 5年生 青柴 生さん



滋賀大学教育学部附属中学校 2年生 藤川 智哉さん

市町 だより 愛荘町 愛着と誇り。人とまちが共に輝く 未来創生のまち。

愛荘町は、中央部に宇曾川や岩倉川、南部には愛知川が流れており、古くから水とのかかわりが深く、田畑が町域の約4割を占めており、美しい自然環境が広がっています。

町の東部には国道307号と名神高速道路が、西部には中山道と国道8号、近江鉄道、東海道新幹線が、それぞれ南北に縦断しており、滋賀県の交通の要衝地でもあります。

湖東三山SICを利用すれば、京都へ1時間、名古屋へ1時間15分でアクセスできます。

産業面では鈴鹿山系の水が豊富な地域であることから上質な麻織物である「近江上布」や「発酵食」などの手仕事文化が根付いています。また、町内には飲料をはじめとした食品製造業や電子部品製造業、自動車部品製造業など様々な業種の企業が立地しており産業も活発なまちです。

最近では、愛荘町の特産品である「秦荘のやまいも」を活用し、「66うどん」や「やまいもジェラート」など新たな特産品も開発されています。

観光の見どころは、「愛知川びん細工手まり」を展示している「びんてまりの館」や、中山道宿場町の面影が残る町並み、湖東三山の1つである「金剛輪寺」などの観光地や、恋の願掛けで有名な「豊満神社」など見どころがたくさんです。ぜひ一度、愛荘町に遊びにきてください。



宇曾川渓谷 愛知川びん細工手まり



国指定重要文化財「豊満神社四脚門」

愛荘町の下水道

愛荘町の下水道は、本町合併以前の平成9年4月1日から供用開始を行い、現在(令和3年3月)の下水道普及率は99.2%に至っています。

令和2年度には愛荘町下水道施設ストックマネジメント計画を策定し、将来に渡り下水道施設の流下機能を維持するため、点検・調査を確実に実施し、適宜・適切な改築・修繕を行なっていくことで下水道サービスを継続的に提供していきます。

今後も町民の快適な生活環境を確保し、公衆衛生の向上、琵琶湖の水質保全のため公共下水道の維持管理、普及に努めていきます。



草津市教育委員会教育長賞



竜王町立竜王西小学校 3年生 齊藤 颯志朗さん



草津市立草津第一小学校 6年生 久下 隼人さん



滋賀県立河瀬中学校 2年生 西村 柚芭さん

びわこ環境ぴかり賞



竜王町立竜王西小学校 1年生 米田 奈央さん



大津市立膳所小学校 4年生 神保 遥希さん



彦根市立南中学校 2年生 大谷 七海さん



下の表の5つの黄色のマスの文字を並べ替えると、今回の記事で使われていることばになります。さて何でしょうか？

1	2		3		4	5	
			6	7			
8		9		10			11
		12	13			14	
15					16		
		17		18			
	19						
20			21				

☆☆☆タテのカギ☆☆☆

- 【タテ2】頑丈な金属の箱で、お金が盗まれないように、その中に入れて鍵をかけるもの。
- 【タテ3】体に黒と白の模様があり、肉や乳がおいしい動物。モーと泣きます。
- 【タテ4】年齢で、20歳の呼び方。
- 【タテ5】アルコールの入った飲み物。飲んだら酔います。20歳未満の人は飲んではいけません。
- 【タテ7】赤くてつぶつぶのある甘っぱいフルーツ。ケーキに乗せたりします。
- 【タテ8】ポルトガルから伝わった甘いお菓子。長方形で、上が茶色、中は黄色でふんわりしています。
- 【タテ9】土を入れて植物を育てるための入れ物で、色は茶色が多く、素材は素焼きや陶器が多いです。
- 【タテ11】雨上がりの青空にたまに見られる七色のアーチ。見られたらラッキー。
- 【タテ13】カレーやナンの料理で有名な国。タージマハルなどの豪華な宮殿もあります。
- 【タテ14】外で食事を取る時に行くところ。ファミリー○○○○○。
- 【タテ16】琵琶湖の汚れや富栄養化(ふえいようか)の原因となる物質の一つ。昔、その物質が含まれる合成洗剤を使わずに、石けんを使おうという「石けん運動」が滋賀県で起こりました。
- 【タテ18】古代エジプトのピラミッドなどで見られる、亡くなった人の体が、良い保存状態で保たれたもの。
- 【タテ19】お米を柔らかく炊いて、胃の消化をよくしたものの。風邪の時などに食べます。

☆☆☆ヨコのカギ☆☆☆

- 【ヨコ1】バットとボールを使うスポーツ。ベースボール。
- 【ヨコ4】紙を切る道具。動物のカニも両手に大きなものを持っています。
- 【ヨコ6】干(ほ)したり加熱したりして食べるキノコ的一种。椎(シイ)の木などから生えます。巻かずしにも入れます。
- 【ヨコ8】川の、海または湖に流れ込む部分。
- 【ヨコ10】お父さんの別の呼び方。○○親。
- 【ヨコ12】アメリカやイギリスの公用語で、日本でも小さいころから学ぶ外国語。
- 【ヨコ14】スーパーマーケットやコンビニでお金を支払うところ。商品のバーコードを読んだりします。
- 【ヨコ15】鉄や金属の板を鍵盤(けんぱん)状に並べて、ばちで叩いて音を出す楽器。
- 【ヨコ16】ヒトの手くらの大きさで、しっぽと前歯が大きく、森にすんでいて木の実が大好きな動物。
- 【ヨコ17】羽根のついたコルク(シャトル)をラケットに当て、ネット越しに相手のコートに飛ばして遊ぶスポーツ。
- 【ヨコ19】勝負に勝つこと。負けの反対。
- 【ヨコ20】琵琶湖にすむ魚の一種。塩焼きにしたり、佃煮(つくだに)にしたり、昆布に巻いたりして食べます。
- 【ヨコ21】ピンク色でくちばしと首と足が長い鳥。一本足で立ったまま寝ます。

★抽選で図書カードが当たる!★

◇応募方法
官製はがきに、「答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、本誌の入手場所、本誌に対する評価点(100点満点中)、ご意見・ご感想」を記入し、

〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108番地
公益財団法人 淡海環境保全財団
淡海環境プラザ担当

までお送りください。正解者の中から抽選で10名様に図書カード(500円分)を差し上げます。
締め切りは2022年7月31日(消印有効)です。
正解は次号(No.61)にて発表します。
当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
なお、前号(No.59)の正解は「ベトナム」でした。
また前号の評価点は、平均点91点でした。

読者の声(第59号)

表紙のバラが美しい!知らない情報がいっぱい。下水汚泥の堆肥野菜、災害と下水道、マンホールトイレ、豆乳から豆腐など驚きでした。(守山市 65歳 女性)
→ご感想ありがとうございます。2021年の春の湖西浄化センターバラ園の見学はコロナウイルス感染拡大防止対策のために中止となりましたが、写真でバラが咲き誇る様子を感じていただければ幸いです。今号は、コロナウイルス感染拡大に伴う保健所支援活動の合間を縫って作成いたしました。下水道にかかわる多彩な情報をこれからも分かりやすくお伝えできればと存じます。

災害の対策をこんなにもされていることを知りました。マンホールトイレ、勉強になりました。湖西浄化センターのバラ園、美しく、彦根と似ていると感じました。近江八幡市、行った所ばかりで懐かしく、コロナが収まったら又訪れたいです。(米原市 73歳 女性)
→日頃なかなか知る事のない下水道の災害対策について、いざという時の助けとなりましたら幸いです。市町日より、毎回、市町の下水道担当の方から寄稿いただいております。読者の皆様には市町の魅力が伝わるとご好評いただいております。

琵琶湖モデルがベトナムに貢献できたこと素晴らしいです。今後も頑張ってください。(豊郷町 71歳 男性)
→ありがとうございます。これからも、ベトナムを始め、各国の下水処理に琵琶湖モデルが貢献できるように、技術支援の取り組みを進めて参ります。

編集後記

滋賀県の流域下水道事業が今年で50周年を迎えました。今号では、50周年記念号といたしまして、これまでの下水道のあゆみとこれからのことについて、特集いたしました。現在、滋賀県内の下水道普及率は91.6%と、全国でも有数の高い割合となっております。これまで下水道が普及いたしましたのも、ひとえに皆様のご理解、ご協力があったものと、深く感謝申し上げます。次の50年に向けて、皆様に安全で快適に下水道をご利用いただけるよう、職員一同尽力して参りますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

「碧い湖」は下水道について県民のみなさんに知っていただくため、年2回発行しています。
県内の各機関、市町役場、図書館、銀行、病院等に置いてあります。
次号(2022年9月発行予定)もぜひご覧ください。

発行所 滋賀県琵琶湖環境部下水道課
〒520-8577
大津市京町四丁目1番1号



抽選の応募、記事についてのお問い合わせ
〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆 2108 番地
公益財団法人 淡海環境保全財団
淡海環境プラザ担当
TEL : 077-569-5306



この印刷物は古紙パルプを配合しています。針がねを使わない環境にやさしい印刷物です。